

長松小学校学校だより

R6 年 10 月 9 日発行

えがおいっぱい 65 号

傘をささない子どもたち

昨日の雨、傘をさしてくる子、もたずに濡れてくる子、持っているのにささない子、いろいろ校門を過ぎていきました。特に最近気になるのは、「傘をもっているのに、ささない子」です。

特に低学年の子どもたちに多いです。なぜ、低学年の子は傘をささないのでしょうか。

予想ですが理由は 2 つ。1 つ目は視野がさえぎられて見えにくくなるから。2 つ目はさすことで、傘が重く不安定になるから。視野や重さの問題は低学年にとって大切なことです。風邪をひかないように、傘をさす大切さを伝えていきます。

中学年以上の子どもたちにも、ささない子がいます。理由は 2 つ。1 つは「面倒くさい」2 つは「すぐに乾くから」あたりではないでしょうか。

こども体調について話をしたいです。傘をさすことで、風邪予防になること。濡れたものが乾くとにおいが残ることも伝えていきたいです。

あとは傘をさすと、雨の音が変わること、雨粒の大きさがわかることも気づいてほしいです。傘をさす楽しさも伝えていきます。

子どもたちの周りには、こうして経験と共に気づいてほしいことがたくさんあります。



今年の運動会スローガン
やる気・元気・本気
心をもやして
限界をこえよう

